


豊橋技術科学大学長 殿

1991年4月30日

審査委員長 中川 聖一 

論文審査及び最終試験の結果報告書

このことについて、下記の結果を得ましたので報告いたします。

記

学位申請者	クレメント, ロス・ピーター	学籍番号	第 887 950 号
申請学位	工学博士	専攻名	システム情報工学
論文題目	The Automatic Generation of Expert Systems Using Machine Learning		
公開審査会の日	1991年 4月 23日		
論文審査の期間	1991年 3月27日~ 1991年 4月26日	論文審査の結果	合格
最終試験の日	1991年 4月 23日	最終試験の結果	合格



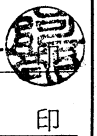
論文内容の要旨

本論文はエキスパート・システム構築のための知識獲得法（推論規則の自動生成法）に関するものであり、従来の研究をまとめた序論および本論8章から成っている。第1章は本論文の概略を述べ、第2章は事実の集積から規則を導き出す方法について述べている。第3章は第1章で述べた方法の一般化について述べている。第4章は第2章で述べた方法の複雑さを減らす方法について述べている。第5章は第3章で述べた方法の適用範囲を拡大する方法について述べている。第6章は第4章で述べた方法の適用範囲を拡大する方法について述べている。第7章は第5章で述べた方法の適用範囲を拡大する方法について述べている。第8章は第6章で述べた方法の適用範囲を拡大する方法について述べている。

審査結果の要旨

エキスパート・システムの構築にあたっては、知識の獲得と推論の自動化が重要な課題である。本論文は、エキスパート・システムの構築に必要となる知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。第2章では、知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。第3章では、知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。第4章では、知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。第5章では、知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。第6章では、知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。第7章では、知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。第8章では、知識の獲得と推論の自動化に関する問題を、数論的アプローチを用いて解決しようとする。

審査委員

中川 聖一  大岩 元  阿部 健一 

(注) 論文審査の結果及び最終試験の結果は「合格」又は「不合格」の評語で記入すること。